

子どもを見守る心

日時：令和6年6月18日（火）13:30～15:00

会場：まめなが一番館内 わんぱくルーム

講師：日野 節子さん

（保育士・児童クラブ主任支援員）



まずは、自己紹介で「1分間」を体験☆



子どもが集中して話が聞けるのは… **1分未満！**



キーワードは、“自己肯定感” “共有” “共感”

子どもの声に耳を傾けて気持ちを受けとめ、出来たことは程良くほめる。

たくさん子どもたちと関わってこられた豊富な経験をもとに、子どもの心に響く子育てのヒントをお話していただきました。



- ☺ 子どもの声に耳を傾けて気持ちを受けとめる。
- ☺ 1分未満の注意。
- ☺ 出来たことは程良くほめる。
- ☺ 遊びを一緒に楽しむ。



ナナメの関係（親・学校の先生・友達以外の人との関係）とは、教育やしつけが目的ではない関係だからこそ、本音が言えたり、居場所にもなれる。

参加者の声

- 子どもの心に寄り添いながら共感する大切さや「挨拶」「感謝の言葉」を言うことの大切さも学びました。
- 心が温くなるお話ばかりで、ファミサポのサポートだけでなくこれからの自分の生き方に参考になりました。今日の言葉を家に帰ってからも一つ一つ思い出しながら、これからに役立てていきたいです。
- ナナメの関係について、自分が何かしら誰かと接点を持ち、誰かの居場所になれたら嬉しいと思いました。スライドなどを使わない手書きのアットホームな講習が素敵でした。



「この本読んで〜♡」 絵本でつながる子どもとの世界

令和6年10月15日(火) 13:30 ~ 15:00

いずも子育て支援センター わんぱくルーム

小村 優衣さん



今は、ネット通販で本を購入したり、YouTubeで絵本の読み聞かせを観たりできる時代ですが、書店で本を手にとって選ぶことは、自分で選んだ実感があるし、満たされた気持ちになります。また、親が読み聞かせることで子どもはリラックスするし、絵本で親子がつながっていくと思います。親が小さい頃好きだった、思い出が乗った本を子どもに受け継ぐこともできます。



参加者から、大切にしている思い出の絵本を紹介してもらいました。



【参加者の声】

- ◎ 絵本にはいろいろな思い出があることをあらためて思いました。「その思い出ごと残して」と言われた言葉が心に残りました。
- ◎ 絵本を読んでもらうってとても気持ちがいいなと感じました。私自身とてもリラックスして話が聞けました。
- ◎ 日頃から絵本が好きですが、今日のお話を聞いてさらに絵本の魅力を感じました。ついネットで絵本を買ってしまいがちですが、本屋に行って選ぶのもいいなと思いました。
- ◎ 子どもたちと絵本を通して豊かな関係が築けたらいいなと思いました。



みんなでまなぼう食物アレルギー

令和6年11月19日(火) 14:00 ~ 15:30

まめなが一番館 味わいスタジオ

吉田 佳奈さん(栄養士)



デモンストレーション

たまごも小麦粉も使わないピザ
を教えてくださいました。

会員さんは、その場で気になる
ことをすぐ聞いてメモメモ…



アレルギーの正しい知識を知ることが大事です。

そしておねがい会員さんは、サポートを依頼するまかせて会員
さんに、子どものアレルギーについて知ってほしいと思う事(どの程度
なのか、発症したらどうなるのか等)を伝えましょう。まかせて会員さん
は、わからないことはわからないと伝え、教えてもらうこと！
伝えあうことが大切です。

おいしいね♡♡



食品に記載してあるアレルギー表記
もわかりやすくなりましたね



原材料に含まれるアレルギー物質
(28品目中)
乳成分・アーモンド・大豆

【参加者の声】

- ◎ 自分の家族や身の回りにアレルギーを持った人がいなかったで、今回正しい知識を知ることが出来て良かったです。
- ◎ 実際のアレルギーの話など聞けて良かったです。ネットでは、いろいろな情報があって、誤った情報もあるかもしれないので、こういう講習は良かったと思います。
- ◎ 食事が必要な預かりサポートがある時のために、とても為になりました。
- ◎ アレルギーのあるお子さんを預かる場合、保護者さんからの聞き取りやお子さんの様子に十分注意してサポートすることが大切だと思いました。

